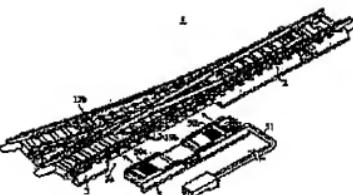


Patent number: JP9084962
Publication date: 1997-03-31
Inventor: AMAMIYA HIROKI
Applicant: TOMY LTD
Classification:
- International: A63H18/08; A63H19/32; A63H18/00; A63H19/00;
(IPC1-7): A63H18/08
- European:
Application number: JP19950271903 19950926
Priority number(s): JP19950271903 19950926

[Report a data error here](#)

Abstract of JP9084962

PROBLEM TO BE SOLVED: To facilitate the changing operation of a coil unit and to improve appearance by insertably and detachably housing the coil unit for point changeover drive in the side part of a road bed to be provided with a point. **SOLUTION:** A housing part (recessed part) 3a opened to the side part of the road bed 3 is provided on the back side of a track panel 1 and the coil unit 5 is attached from the side part opening of the road bed 3 to the housing part 3a. The coil unit 5 is provided with coils 50a and 50b in a mutually separated state and a cable 51 for supplying power to the coils 50a and 50b is attached. Then, the coil unit 5 is fitted in the recessed part 3a of the road bed 3 in a state where an operation part 19a provided on the tip of the short branch part of a guiding body to which a permanent magnet is attached is turned to an approximate neutral position. Since the coil unit 5 can be inserted/detached from the opening provided on the road bed 3, the coils 50a and 50b are changed without detaching the track panel 1.



Data supplied from the esp@cenet database - Worldwide

(19)日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平9-84962

(43)公開日 平成9年(1997)3月31日

(51)Int.Cl.*
A 63 H 18/08

識別記号

府内整理番号

F 1

A 63 H 18/08

技術表示箇所

A

審査請求 未請求 請求項の数4 FD (全7頁)

(21)出願番号 特願平7-271903

(71)出願人 000003584

株式会社トミー

東京都葛飾区立石7丁目9番10号

(22)出願日 平成7年(1995)9月26日

(72)発明者 南宮 弘樹

東京都葛飾区立石7丁目9番10号 株式会

社トミー内

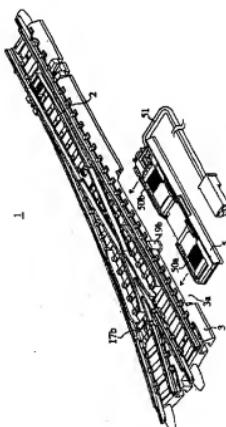
(74)代理人 弁理士 荒船 博司

(54)【発明の名称】 鉄道模型におけるポイント切換装置

(57)【要約】

【課題】 交換作業が容易で、しかも見栄えの点でも問題がないポイント切換装置を提供する。

【解決手段】 コイルに電流を流すことによって、永久磁石を支持する案内体を動作させてポイントを切り換えるように構成されたポイント切換装置において、前記コイルを支持したコイルユニットを有し、前記ポイントが設けられる道床の側部には、前記コイルユニットを挿脱可能な開口が設けられ、また、前記道床には、前記コイルユニットを収納する収納部が前記開口に連なって設けられている。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 コイルに電流を流すことによって、永久磁石を支持する案内体を動作させてポイントを切り換えるように構成されたポイント切換装置において、前記コイルを支持したコイルユニットを有し、前記ポイントが設けられる道床の側部には、前記コイルユニットを挿脱可能な開口が設けられ、また、前記道床には、前記コイルユニットを収納する収納部が前記開口に連なって設けられていることを特徴とする鉄道模型におけるポイント切換装置。

【請求項2】 コイルに電流を流すことによって、永久磁石を支持する案内体を動作させてポイントを切り換えるように構成されたポイント切換装置において、前記コイルを支持したコイルユニットを有し、前記ポイントが設けられる道床には、該道床の上面に開口し前記コイルユニットをはめ込み可能な収納部が設けられていることを特徴とする鉄道模型におけるポイント切換装置。

【請求項3】 軌道盤のレールの延在方向に往復動作可能で永久磁石を支持する案内体と、この案内体の往復動作によって水平面内で回動動作するカムレバーと、このカムレバーの回動動作によって軌道盤の幅方向で往復動作するカム受けと、このカム受けの往復動作によって水平面内で振動する先端軌条と、前記永久磁石(以下では前記案内体を動作させるコイルとを備えた、鉄道模型におけるポイント切換装置において、前記コイルを支持するコイル支持部材が前記軌道盤の道床とは別体に構成される一方で、前記道床の側部には前記コイル支持部材を挿脱可能な開口が設けられると共に、前記道床内に、前記開口に連なり前記コイル支持部材を収納可能な収納部が設けられていることを特徴とする鉄道模型におけるポイント切換装置。

【請求項4】 軌道盤のレールの延在方向に往復動作可能で永久磁石を支持する案内体と、この案内体の往復動作によって水平面内で回動動作するカムレバーと、このカムレバーの回動動作によって軌道盤の幅方向で往復動作するカム受けと、このカム受けの往復動作によって水平面内で振動する先端軌条と、前記永久磁石(以下では前記案内体を動作させるコイルとを備えた、鉄道模型におけるポイント切換装置において、前記コイルを支持するコイル支持部材が前記軌道盤の道床とは別体に構成される一方で、前記道床の上部には前記コイル支持部材を挿脱可能な開口が設けられると共に、前記道床内に、前記開口に連なり前記コイル支持部材をはめ込み可能な収納部が設けられていることを特徴とする鉄道模型におけるポイント切換装置。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、鉄道模型におけるポイント切換装置に関するものである。

【0002】

【従来の技術】鉄道模型にあっては、実物に近い軌道を形成するため、連結した軌道盤の所々にポイント切換部を設けることが行われている。そして、このポイント切換部でのポイント切換にあたっては、ソレノイドを用いてポイント切換を行うことが行われている。このソレノイドはコイルと案内体とを備えており、コイルに電流を流すことによって、永久磁石を支持する案内体を動作させ、これによりポイント切換を行っている。このポイント切換装置のソレノイドは、軌道盤内に組み込まれるのが一般的であるが、中には、軌道盤外にそのソレノイドが設けられ、このソレノイドに連結される運動伝達機構を介して、軌道盤のポイントの切換を行っているものもある。

【0003】ところで、従来、軌道盤同士を連結するにあたっては、軌道盤の端部に突出して設けた差込み片を、他方の軌道盤の端部に設けた差込み穴に嵌合させるようになっているのが一般的である。また、多数の軌道盤を連結して構成した軌道をベースボードに接着剤あるいはねじ等で固定し、そのベースボードの上に川や山などの情景を作り込んだりすることも行われている。

【0004】

【発明が解決しようとする課題】しかしながら、軌道盤にソレノイドを組み込んだ構造のものでは、ベースボード上に軌道を固定してしまうと、トラブル等でソレノイドのコイルを交換しなければならない場合、そのソレノイドが組み込まれた軌道盤だけでなく、その近辺の軌道盤を持ち上げて外さなければならず、交換作業が大変である。また、軌道盤の外側に、ソレノイドを設ける構造のものでは、ポイント切換装置の交換作業は比較的容易であるが、ソレノイドとポイントを連結するための運動伝達機構が必要となると共に、ソレノイドを収納するボックス等が軌道盤の外側に出来てしまうため、見栄えが悪くなるという問題があった。

【0005】本発明は、かかる問題点に鑑みられたもので、交換作業が容易で、しかも見栄えの点でも問題がないポイント切換装置を提供することを目的としている。

【0006】

【課題を解決するための手段】請求項1記載のポイント切換装置は、コイルに電流を流すことによって、永久磁石を支持する案内体を動作させてポイントを切り換えるように構成されたポイント切換装置において、前記コイルを支持したコイルユニットを有し、前記ポイントが設けられる道床の側部には、前記コイルユニットを挿脱可能な開口が設けられ、また、前記道床には、前記コイルユニットを収納する収納部が前記開口に連なって設けられていることを特徴とする。

【0007】請求項2記載のポイント切換装置は、コイルに電流を流すことによって、永久磁石を支持する案内体を動作させてポイントを切り換えるように構成された

ポイント切換装置において、前記コイルを支持したコイルユニットを有し、前記ポイントが設けられる道床には、当該道床の上面に開口し前記コイルユニットをはめ込み可能な収納部が設けられていることを特徴とする。

【0008】請求項3記載のポイント切換装置は、軌道盤のレールの延在方向に往復動作可能で永久磁石を支持する案内体と、この案内体の往復動作によって水平面内で回動動作するカムレバーと、このカムレバーの回動動作によって軌道盤の幅方向で往復動作するカム受けと、このカム受けの往復動作によって水平面内で振動する先端軌条と、前記永久磁石においては前記案内体を動作させるコイルとを備えた、鉄道模型におけるポイント切換装置において、前記コイルを支持するコイル支持部材が前記軌道盤の道床とは別体に構成される一方で、前記道床の側部には前記コイル支持部材を押脱可能な開口が設けられると共に、前記道床内に、前記開口に連なり前記コイル支持部材を収納可能な収納部が設けられていることを特徴とする。

【0009】請求項4記載のポイント切換装置は、軌道盤のレールの延在方向に往復動作可能で永久磁石を支持する案内体と、この案内体の往復動作によって水平面内で回動動作するカムレバーと、このカムレバーの回動動作によって軌道盤の幅方向で往復動作するカム受けと、このカム受けの往復動作によって水平面内で振動する先端軌条と、前記永久磁石においては前記案内体を動作させるコイルとを備えた、鉄道模型におけるポイント切換装置において、前記コイルを支持するコイル支持部材が前記軌道盤の道床とは別体に構成される一方で、前記道床の上部には前記コイル支持部材を押脱可能な開口が設けられると共に、前記道床内に、前記開口に連なり前記コイル支持部材をはめ込み可能な収納部が設けられていることを特徴とする。

【0010】上記した手段によれば、道床に設けた開口からコイルユニットが押脱できるので、軌道盤を固定した後でも、軌道盤を外すときにポイント切換装置のコイルを交換できることとなり、その交換作業がすこぶる簡単となる。また、コイルユニットは道床に収納されるので、見栄えを損なうこともない。

【0011】

【発明の実施の形態】以下、本発明の一実施形態のポイント切換装置を説明する。図1において符号1は先端軌条(ポイント)2を有する軌道盤を示している。この軌道盤1の裏側には、道床3の側部に開口する収納部(凹部)3aが設けられ、この収納部3aには、道床3の側部開口からコイルユニット5が取付けできるようになっている。図2には、このコイルユニット5を取り付けた状態の軌道盤1の斜視図が示されている。

【0012】道床3には、図3(a)に示すように、長尺の2本のレール12a、12bと、短尺の3本のレール12c、12d、12eとが取り付けられている。こ

れらレール12a、12b、12c、12d、12eは導電性を有している。また、道床3の上には、レール12a、12bの下に、横方向に移動可能なカム受け13が設けられている。さらに、道床3の上には、図3

(b)に示すように、先端軌条2とクロッシング14が設けられている。先端軌条2およびクロッシング14は導電性を有している。先端軌条2は一部がカム受け13に係合しており、カム受け13が横方向に移動した際に、先端軌条2はビス15を中心にして水平面内で振動するようになっている。クロッシング14は道床3に固定して設けられており、その一部は先端軌条2の下側に潜り込んでいる。なお、図3(a)において符号14a、14bおよび14cはそれぞれレール12c、12aおよび12bに取り付けられるジョイントである。

【0013】また、道床3の裏側には、図4(a)に示すように、5個の斗形接点16がはめ込まれている。そして、この斗形接点16を介してレール12a、12b、12c、12d、12eへの給電を行うようになっている。また、道床3の裏側には、図4(b)に示すように、一对のギャップペロ17a、17aが取り付けられたギャップスイッチ17aが設けられている。ギャップスイッチ17aは図1に符号17bで示す操作部をドライブで回すことにより、操作されるようになっている。このギャップスイッチ17の働きについては後述する。さらに、道床3の裏側には、L字状の案内体19が設けられている。この案内体19の短枝部分には永久磁石20が取り付けられている。また、案内体19の長枝部分の先端には、一对の頭21a、21bが互いに離れて設けられている。この案内体19は、後述のコイル5a、5bととの間に働く磁力作用によって、道床3の長手方向に沿って往復動作できるようになっている。また、道床3の裏側にはカムレバー23が設けられている。このカムレバー23は軸24を中心して水平面内で往復回転できるようにされている。このカムレバー23の操作部23aは前記一对の頭21a、21b内に嵌入している。そして、案内体19が動作した際、カムレバー23が軸24を中心して水平面内で回転するようになっている。また、カムレバー23に付設された棒状部分23bの先端はカム受け13下側の一对の突起13a、13bの間に嵌入している。また、道床3の裏側には、操作部25aが付設されたT字ペロ25aが設けられている。このT字ペロ25aは軸26aを中心して水平面内で往復回転できるようになっている。このT字ペロ25aの操作部25aの先端折曲部は、案内体19の長枝部分中程の穴19aに嵌入している。そして、案内体19が動作した際、T字ペロ25aが軸26aを中心して水平面内で回転するようになっている。

【0014】道床3には、図5(a)～(c)に示すようにに裏蓋26が取り付けられる。この裏蓋26の上面には、図6で斜線で示す配線パターン27a、27b、2

7c, 27d, 27e, 27fが形成されている。この配線パターン27a, 27b, 27c, 27d, 27e, 27fと、斗形接点16、ギャップペロ17およびT字ペロ25との位置関係が図7の左側に示されている。この状態はギャップスイッチ17がONの時の状態であり、ギャップスイッチ17をOFFにした場合には図7の右側に示すような状態となる。

【0015】コイルユニット5には図1に示すようにコイル50a, 50bが互いに離れた状態で設けられている。また、コイルユニット5は前記コイル50a, 50bに給電を行うためのケーブル51が取り付けられている。そして、このコイルユニット5は、前記案内体19の短枝部分先端に設けた操作部19bをほぼ中立位置にした状態で、道床3の凹部3aにはめ込まれるようになっている。なお、このコイルユニット5に設けられるコイルの個数は2個でなくとも、1個であっても良い。1個の場合には、その1個のコイルの力と吸着力をを利用して、案内体19を動作させるようにする。また、ケーブル51はコイルユニット5に設ける必要はなく、コイルユニット5には端子を設け、一方、コイルユニット5が装着される道床3にも前記端子に接する端子を設け、道床3からケーブルを引き出すようにしても良い。

【0016】次に、このポイント切換の仕方について説明する。

【0017】図8に示すように、この実施形態における永久磁石20は例えば右側がN極、左側がS極となっている。したがって、コイルユニット5のコイル50aの右側がN極、コイル50bの左側がN極となるようにコイル50a, 50bに電流を流せば、永久磁石20がコイル50aに引き寄せられ、案内体19が左側へ移動する。この状態では、カム受け13は矢印Aの方向へ移動するので、車両模型は直線走行を行うことになる。この場合のT字ペロ25は、図9(a)の左側に示すように、配線パターン27aと27cを連絡する。したがって、レールの極性は図9(a)の右側に示すようになる。一方、コイルユニット5のコイル50aの右側がS極、コイル50bの左側がS極となるようにコイル50a, 50bに電流を流せば、永久磁石20がコイル50bに引き寄せられ、案内体19が右側へ移動する。この状態では、カム受け13は矢印Aの方向とは反対の方向へ移動するので、車両模型は分岐部に入ることになる。この場合のT字ペロ25は、図9(b)の左側に示すように、配線パターン27bと27dを連絡する。したがって、レールの極性は図9(b)の右側に示すようになる。

【0018】以上、本発明者がなした発明の実施形態について説明したが、本発明は、かかる実施形態に限定はされず、本発明の要旨を変更しない範囲において種々の

変更が可能であることはいうまでもない。

【0019】例えば、前記実施形態においては、道床の横の開口からコイルユニットを出し入れするようにしたが、道床3の2つのレール間に挟まれる部分に収納部(凹部)を設け、この凹部に上からコイルユニットをはめ込むような構造としても良い。この場合、コイルユニットにコイルに給電するためのケーブルを付けるならば、そのケーブルは、そのコイルユニットをはめ込む道床の下側から外側へ取り出すようにする。道床3の下側からケーブルを取り出した場合には、コイルユニットの交換の際に、道床3を上げなければならないが、道床をベースボールから取り外す場合よりも、交換作業は容易である。また、この場合にも、コイルユニットにケーブルを直接接続しないで、コイルユニットと道床3とは端子同士で電気的に連結するような構造とし、道床3からケーブルを引き出すようにしても良い。このようにすれば、道床3を上げることなく、コイルユニットの交換ができることになる。

【0020】

【発明の効果】本発明によれば、道床に設けた開口からコイルユニットが降脱できるので、軌道盤を固定した後でも、軌道盤を外さずにポイント切換装置のコイルを交換できることとなり、その交換作業がすこぶる簡単となる。また、コイルユニットは道床に収納されるので、見栄えを損なうこともない。

【図面の簡単な説明】

【図1】実施形態の軌道盤の斜視図である。

【図2】実施形態の軌道盤の斜視図である。

【図3】実施形態の軌道盤の分解斜視図である。

【図4】実施形態の軌道盤の分解斜視図である。

【図5】実施形態の軌道盤の組立図である。

【図6】実施形態の軌道盤の裏蓋の配線パターンを示す図である。

【図7】実施形態の軌道盤の配線図である。

【図8】実施形態のポイント切換を説明するための図である。

【図9】実施形態のポイント切換時の状態を示す図である。

【符号の説明】

1 軌道盤

2 先端軌条

3 道床

3a 凹部

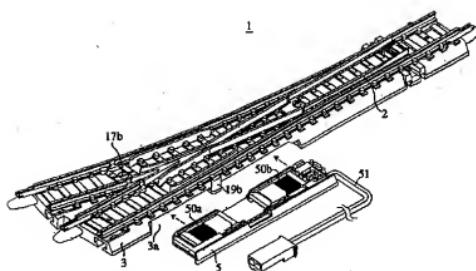
19 案内体

20 永久磁石

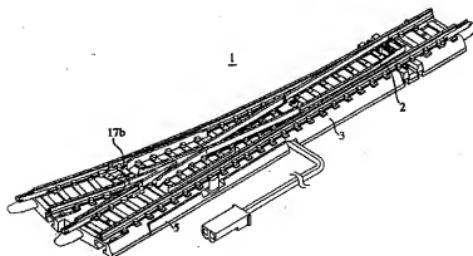
5 コイルユニット

50a, 50b コイル

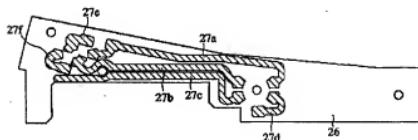
【図1】



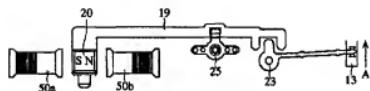
【図2】



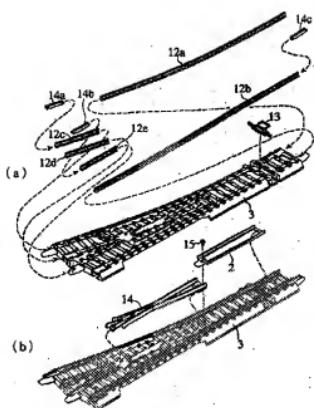
【図6】



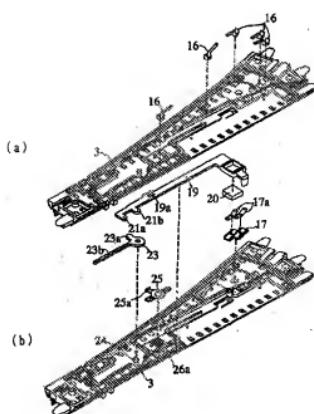
【図8】



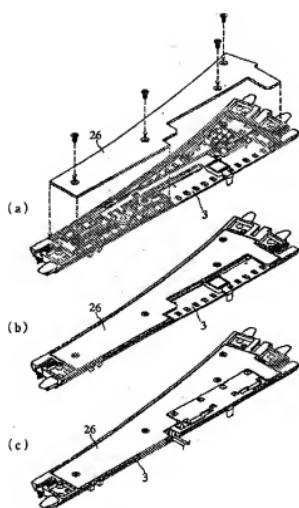
【図3】



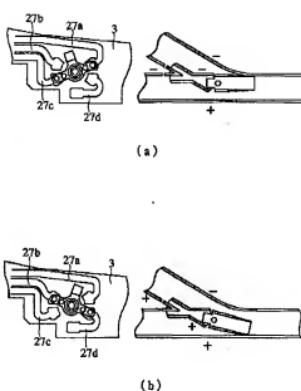
【図4】



【図5】



【図9】



【図7】

